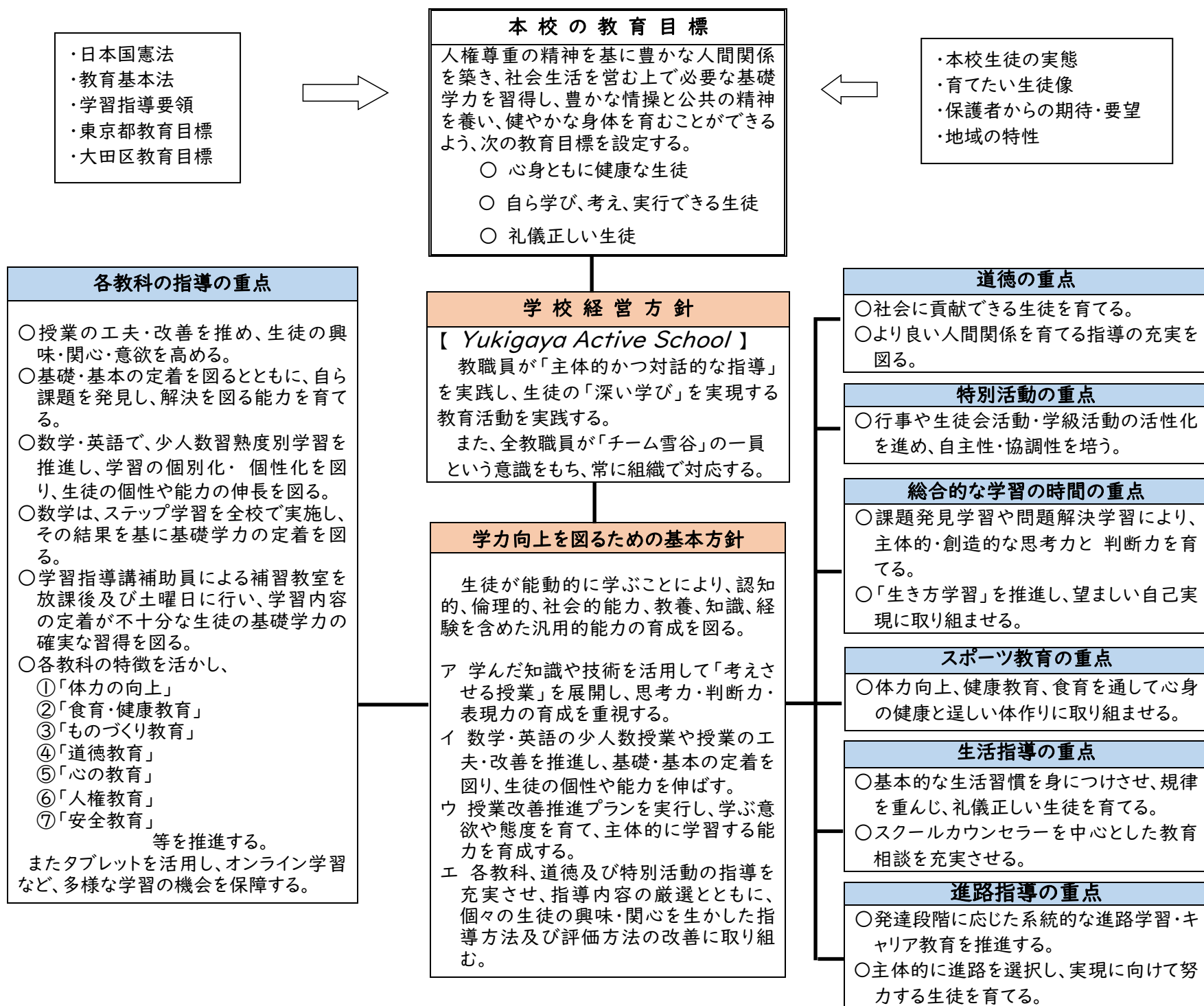


令和6年度 授業改善推進プラン 全体計画



授業改善に向けた視点と工夫

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価・評定の工夫	家庭や地域との連携の工夫	研究・研修の工夫
・おおた教育ビジョンを着実に実施するため、区の様々な施策を教育課程編成に反映させる。そして、全教員が区の方針をよく理解した上で、実践する。 ・始業式、終業式の日授業を実施するとともに、金曜日の5校時に授業振り替えを行い、授業時数を確保し、教育課程を完全実施する。 ・数学科、英語科で少人数展開授業を通年実施し、個に応じた指導を徹底して行う。 ・朝読書の時間を設け、読書習慣や読解力を身につけさせる。	・習得・活用・探究を意識して指導する。 ・全教科において言語活動の充実を図る。 ・全教科で反復練習を習慣化し、基礎・基本の定着を図る。 ・アクティブラーニングの手法を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ・ICT 機器を利活用し、生徒の興味・関心を高め、視聴覚に訴える授業を行う。 ・外部指導員や大学生ボランティアとの連携により、授業の工夫・改善や行事の内容を充実させる。 ・健康・食育・体力向上を充実させる。	・学校が示す「目標に対する成果指標」について、学期毎に調査・分析を行い、その達成率を高める手立てを構築する。 ・各教科作成資料を基に、評価・評定の内容や方法について、1学期中に生徒・保護者に周知する。 ・生徒の学習意欲を引き出すために、ねらいと学習内容、評価の一体化を図る。 ・外部評価、生徒・保護者の評価等を授業改善に生かす。 ・生徒による授業評価を行い、授業改善に反映させ、学力向上を図る。	・体力・生活習慣改善表を活用し、生活習慣の大切さについて学校と家庭が連携して指導を行う。 ・学校 HP や学校だより、学年だより等を通して学校の教育活動を知らせ、授業規律の確立や倫理観の育成に取り組み、保護者の理解と協力を仰ぐ。 ・教員や生徒・保護者がともに参加する行事を充実させ、学校と家庭の連携を深める手立てとする。 ・ボランティア活動への参加を通して、奉仕の精神を育成する。 ・オンラインによる授業配信を行うなど、自宅学習の環境づくりを進め、家庭と連携して、生徒が安心して生活できるよう支援する。	・校内研究授業や研修を行い、教員の意識を高め、授業力の向上を図る。 ・「思考力・活用力をつけるための学習形態」「二極化に対応する指導」「ICTを活用した分かりやすい授業の形態」を中心に、年8回の研修会を開き、さまざまな角度から課題解決を図る。 ・OJT 研修を通して、若手教員の育成に学校全体で取り組む。 ・教員相互の授業観察を行い、評価し合いながら、互いの研鑽に励む。 ・小中一貫教育研修会で教科等の継続性が図れるように研修を深める。 ・外部での研修の成果や情報を校内で共有する。